

## 諏訪湖でのワカサギ等の大量死に関する経過・対応等について

環境部水大気環境課

## 1 発見日

平成 28 年 7 月 26 日（火）朝

## 2 へい死状況

ワカサギ、コイ、フナ等 2,531kg（7/28、30、31 回収実績）

## 3 へい死が確認された場所

釜口水門（岡谷市）～水産試験場諏訪支場（下諏訪町）の諏訪湖北側岸辺  
（風・波の影響により同所周辺に集中したものと考えられる。）

## 4 原因

26 日の低温と降雨で表層水の水温が低下したことにより、表層水と下層水の逆転（混合）が起こり、湖底の貧酸素水塊が表層まで上がったことで酸欠を引き起こした可能性が高い。

## 5 経過等

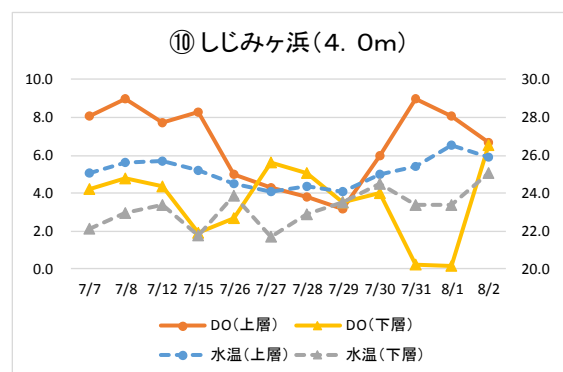
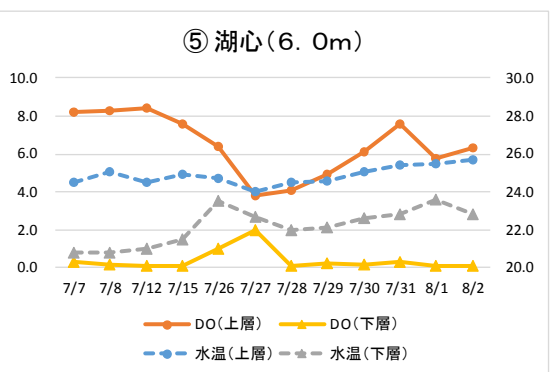
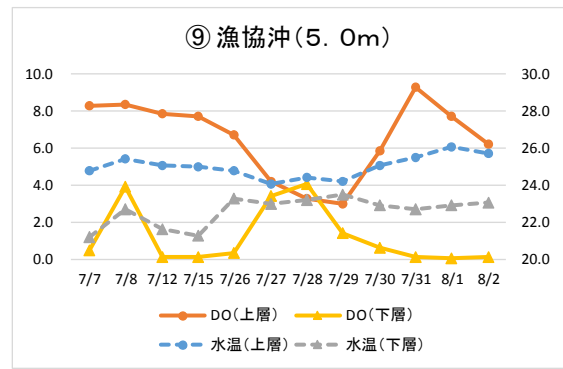
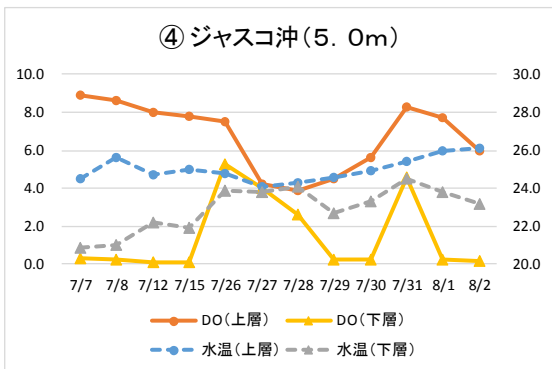
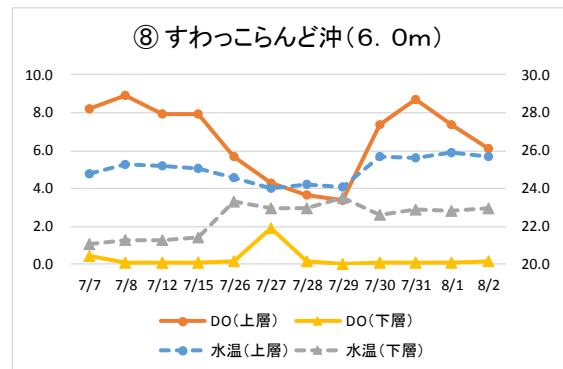
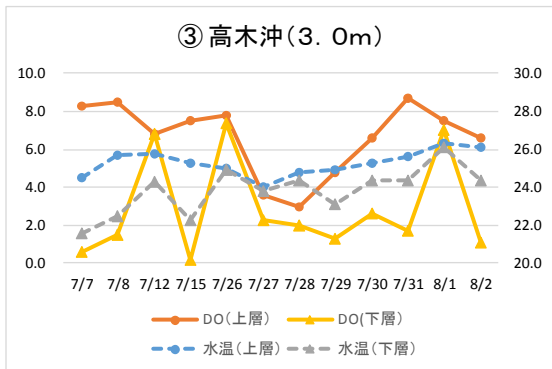
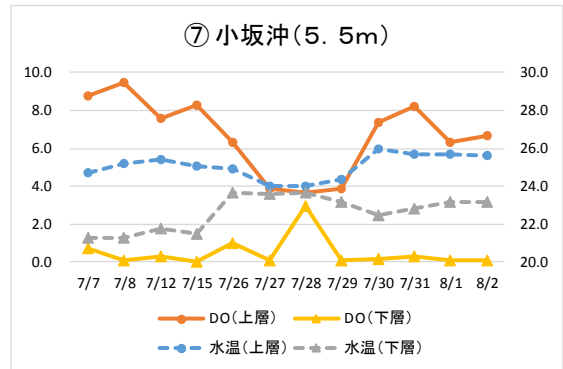
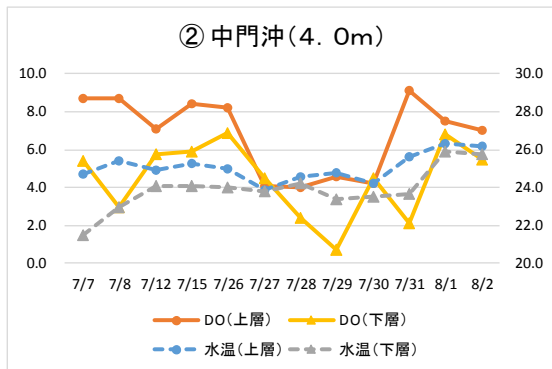
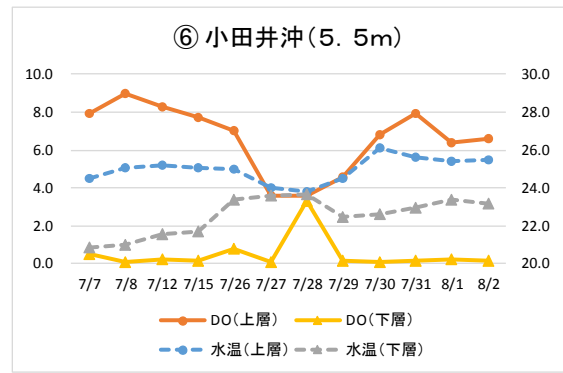
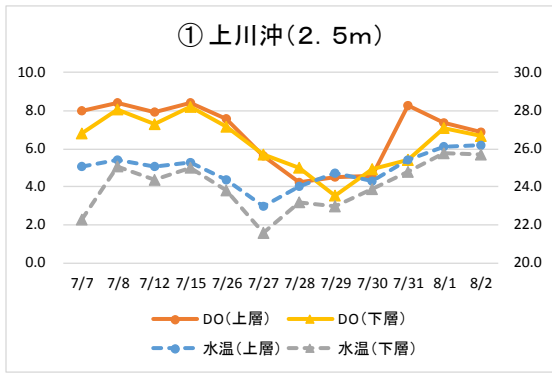
7/26	【第 1 報】漁業者→水産試験場諏訪支場 「諏訪湖でワカサギが死んで浮いている」
	現場確認（水産試験場諏訪支場） ▶ 調査定点※（9 地点）で水温と溶存酸素を測定 →網生簀付近の水深 3 m 以深で貧酸素となっている地点を確認 ▶ 魚体検査：外観上の異常はなく、病気等による死亡ではないとみられる
	湖内を調査（諏訪湖漁協）
7/27	県庁、諏訪地方事務所、諏訪建設事務所、岡谷市、下諏訪町に情報が入る。
	現場確認（県機関、岡谷市、下諏訪町） ▶ 死魚が確認された範囲 釜口水門（岡谷市）～水産試験場諏訪支場（下諏訪町）の湖岸 ▶ 流入河川（砥川・横河川）の状況 河口付近：へい死魚に交じり、生きている魚を確認 河口から約 300m 上流まで：へい死魚なし ▶ 水質検査の実施 簡易検査：異常なし 検査項目：六価クロム等 6 項目 詳細検査：検査中(8/5 頃判明) 検査項目：カドミウム等 39 項目
	今後の対応を関係者で協議（県機関、岡谷市、下諏訪町、諏訪湖漁協）
7/28	へい死魚の回収（7/28～）
	調査定点で水温と溶存酸素を測定（水産試験場諏訪支場）
7/29	プランクトン調査：3 地点で採取 検査中(8 月中旬判明)（松本保健福祉事務所検査課）
7/30	湖内全域の溶存酸素等の測定：21 地点（環境保全研究所） →表層の溶存酸素濃度が通常と同程度に回復し、水温差による層が形成されつつある

※調査定点：月 1 回、水産試験場諏訪支場で水質調査を行っている地点

## 6 今後の対応（予定）

- ▶ 溶存酸素の継続調査
  - ・ 調査定点での測定：週数回※当面は毎日（水産試験場諏訪支場）
  - ・ 湖内全域の調査：月 1 回（環境保全研究所）
  - ・ 連続測定機の設置：11 ヶ所（環境保全研究所）
- ▶ 湖内のワカサギ資源量の調査
  - ・ 魚群探知機による長期的資源量調査：諏訪湖漁協と実施日を調整中（水産試験場諏訪支場）
  - ・ 投網による調査：8/10 までに数回実施（諏訪湖漁協）
- ▶ 貧酸素域が拡大した原因を検討

# 諏訪湖の溶存酸素濃度(7/7~8/2)



(測定: 諏訪湖漁業協同組合、測定時刻: 午前7~8時)

# 諏訪湖の溶存酸素濃度測定地点図

